

「本山寺山森林づくりの会」活動報告

武田壽夫(文、写真)、山 國(写真)

日時：2017(平成 29)年 9 月 7 日(木) 9:30～13:15

気象：天候=曇→**雨**→曇(12 時の気温：22℃)

活動エリア：「44 林班い」、並びに「45 林班に—01」に近接する自然歩道

活動内容：林床整備、ナラ枯れ対策、自然歩道整備

参加者：石原順子、斧田一陽、倉谷邦雄、武田壽夫、山 國 (計 5 名)

<♪♪○○○心と山の天気ヨ♪♪>

雨は午後 2 時頃からとの予報。フロントガラスに雨滴が当たるが気象庁を頼りに一路山へ。小屋に着く頃には止んだので天気が崩れれば早目に切り上げる事にして、装具一式を担ぎ先ずは「44 林班い」のモニタリング調査区の尾根へ。**今日の目標は林床整備を調査区の北に伸ばすこと & その先の「ナラ枯れ」への対策。**往路、本山寺境内の浄め水で木に巻き付けるバスタオルを湿らせる。

ところが、その後の天気は小見出しの通り。**作業開始 1 時間でしっかりした雨に掴まり、12 時前には本山寺へと引き返す**(昼食は鐘楼の一階を拝借)。雨が上がるのを見て、午後は気になっていた小屋近くの自然歩道の補修を行うことに。幸い、午後の雨は夕方まで「お休み」。

<…と言うことで→午前は山仕事、午後は道路補修>

林床整備とナラ枯れ対策の二班に別れ作業。場所は WL500m 強、時々ガスが降り、やがて雨に変わる。**雨中、林床整備組の奮闘は写真をご覧ください。**それでも尾根を中心に幅 20m、延長 50m 位は整備を拡張出来た。

一方のナラ枯れは標高でさらに 15～20m 登った辺り。記憶を頼りに、何とか 6 本を発見。**4 本にタオルとラップの二重巻き、2 本にラップ巻きを施す。**雨は降るふる、遠雷もゴロゴロで 11 時半には全員本山寺へ撤収開始。幸い、雨は食事中に上がる。

自然歩道の補修は路肩が崩れかけている区間を約 15m、杭を打ちこみ新たな除伐木や残置材を運んで**土留めを施工。**これはカッコ良く仕上がった。

<今日の「生きものの記録」>

蝉が今日は「ミン・ミン、ツツク」と賑やか、それに数カ所で鹿の声。参道では沢蟹クンの散歩、おまけに小屋への細道では猪が獣道と沼田場(ヌバ)を施工済み。**白眉は下山の車中、「ウリボウ」二匹の自然歩道横断に出会ったこと。一匹は暫くこちらを振り向いていた。**写真は羽を広げると天使にも見える「アオバハゴロモ(Geisha distinctissima)」を掲載。学名は「芸者」と読める。

(本文 以上)

【始業前】



【降雨に備え荷物にはシート掛け】



【合羽姿で倒木を棚積み場所へ】



【雨が強まる中”頑張る”】



【カシナガ対策—濡れタルとラップの二重巻】



【対策後の自然林-手前はラップ、後ろは二重巻】



【路肩補強開始】



【渾身の杭打ち】



【出来栄を確認】



【ほぼ完成-歩き心地は次回のお楽しみ】



【猪が作った獣道と沼田場】



【アオバハゴロモ】

